

## 復活の主日・日中のミサ

福音朗読 ヨハネ 20・1-9

2023.4.9 9:00 ミサ  
カトリック高円寺教会  
主任司祭 高木健次神父

皆さん、主のご復活おめでとうございます。

わたしたちは毎年このご復活をお祝いする度に、一人ひとりに与えられた信仰の恵みを改めて思い起こし、その恵みを与えてくださった神様に感謝するよう招かれています。

信仰の恵みとは何でありましょうか。一言で言うならば、出来事を通して示される神様の恵みに目が開かれる、と言ってもいいと思います。

毎年、復活の主日の日中のごミサでは今朗読いたしましたヨハネによる福音の個所が読まれます。その個所では、復活祭ですけどもまだイエス様は登場して来ていません。今日登場したのはマグダラのマリアと、ペトロと、そしてイエスが愛しておられたもう一人の弟子という3人の人物。そして、その人物たちがイエス様のお墓が開かれている、そして中に、イエス様の遺体を包んでいた布が、頭のところを包んでいた布と体を包んでいた布が別々に置かれている、という出来事でした。わたしたちはイエス様が復活したということを知っている、知って読んでいるので、お墓が開かれている、また、遺体を包んでいた布が別々に置かれているというのは、死が最早イエス様を支配していないという、イエス様が復活された喜びのしるしなのだと知っています。あるいは、喜びのしるしとして受け取ることができます。それが信仰の恵みと言えるでしょう。

しかし、福音書の物語の中にいる登場人物たちはまだその出来事に完全には出会っていない。その途中なので、マグダラのマリアが言っているように、その出来事、お墓が開かれている、遺体を包んでいた布が別々に置かれているということが何か良くないことのしるしのように感じられているわけです。「主が墓から取り去られました。どこに置かれているのか、わたしたちには分かりません」（ヨハネ 20・2）という、もっと直訳的に言えば、「彼らが主を墓から取り去りました。わたしたちはどこに置かれているのか知りません」。「彼ら」というのはイエス様に反対した人々ということが暗示されています。つまり、イエス様を

殺すだけでは足りなくて、その遺体までどっかに持って行っちゃったというふうに受け取っているわけです。

もう一人の弟子というのは、実はのちの時代のわたしたちを代表する者としてそこに登場していると言えるので、その出来事を見て、そして復活を信じたというふうに繋がって行きますけども、実はそれはわたしたちがイエス様のご生涯全体を福音書を通して、また教会の教えを通して教えて頂いているので、この出来事は、読者の気持ちとしては「マグダラのマリアよ、それは悪いことのしるしではなくて、イエス様が復活した喜びのしるしなんだよ」というように教えてあげたくなる、そういう感じなんです。

だから、その意味では、最初の弟子たちよりもわたしたちがイエス様のご生涯の全体像を教えていただき、そして聖霊の助けのうちにそれを振り返る、その恵みのうちにある。それがのちの世代の弟子たちに与えられた恵みだと、ヨハネの福音書は伝えています。

イエス様のご生涯は、その全体像をわたしたちが教えていただいているので、お墓が開いていた、遺体を包んでいた布が別々に置かれているということが喜びのしるしとしてわたしたちは知ることができますが、わたしたち一人ひとりが生きているその人生で与えられるいろいろなしるしを希望をもって受け取ることができるでしょうか。わたしたちも福音書に登場した弟子たちのように、今、その結末までを知らずに自分自身の人生の物語の中を生きている。でも途中であります。だから、そこで起きる出来事そのものが結末であるかのように早まって判断してしまう。悪いことが起こった、神様がいない。悪いことが起こった、神様が助けてくださらない。あるいは、マグダラのマリアが復活のしるしを見て、悪いことが起こったというふうに判断してしまうように、いろいろな形でわたしたちも人生の途中で出会っている出来事に対して早まった判断、解釈、理解をしてしまうということは有り得るわけです。

しかし、全てを最後に完成してくださるという復活のイエス様に対する信仰をもとに、一人ひとりの人生の途上で体験している出来事も見直してみる必要があるのではないかと思います。それが復活の信仰をいただいた者として一人ひとりの人生を生きる、あるいはその人生を受け取り直すということになるのではないかと思います。

今日、父である神様がどのようなご計画で最後に何を完成してくださるのかということ復活の希望のうちに確認するわたしたちが、一人ひとりの人生の中で体験している出来事についても神様への希望うちに見直してみる、理解し

受け取り直すことが出来ますように、復活の恵みを生きる、その導きを願いながら、お互いのために神様の助けを祈り、このごミサをお捧げしたいと思います。

---

ミサ説教はカトリック高円寺教会ホームページの「ミサ説教」のページにも掲載されています。

PC <http://www.koenji-catholic.jp/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>

携帯 <http://www.koenji-catholic.jp/mobile/>